

学会便り 第148回春期大会報告

第38回「女性会員の会」報告

The 38th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

6年ぶりの完全対面開催となった第148回春期大会中、5月17日(土) 12:10~13:10に入退室自由の、第38回女性会員の会をハイブリッドで開催した。参加者は合計20名(女性16名、男性4名)。現地参加は17名、オンライン参加は3名で、子育て中、海外の大学で研究中の方などが参加し、画面を通してお子さん方のほほえましい光景を共有することができた。また、参加申し込みが間に合わず飛び入り参加となった方も数名おられた。託児室を利用したお子さんが2名参加し、にぎやかな時間となった。

前回に引き続き、より多くの方に参加いただくために今回も講演大会に参加登録していない人も参加できるようにした。会場にはお弁当と福岡県のお菓子を用意し、参加者全員の顔を見て話ができるような机の配置にして交流を図った。

お菓子：ネジチョコ、博多あまおう ひよ子のたまご、堅パン、チロリアン、めんべい、明太コッペパン、オムレット(世話人)、ガレットショコラエビス、ベイマックスりんごケーキ(差入：上田 薫さん)。

学会託児室を設置し、会期中にのべ9名の利用があった。

この場を借りて、九州工業大学の徳永 辰也 先生ならびに実行委員会の皆様に深く感謝申し上げる。

1. 自己紹介：氏名・所属、ひとこと

昼食をとりながら参加者全員に自己紹介と議題についてコメントをいただいた。議題は「女性会員の会で話題にしてほしいこと」、「男女共同参画セッションでやってほしいこと」の2テーマである。

1.1 議題に関するコメント

参加者のほとんどが社会人だったせいか、家事分担や男性の育児休業(以下、育休)取得について、若手の方からは結婚後パートナーの異動や出産などの私的イベントとキャリアアップの兼ね合いをどうしているのか知りたい、といった生活やキャリアに関する要望が多く挙げられた。また、大学教員が子育てと大学教育をどのように両立しているのか、現在子育て中の先生から話を聞きたい、との意見があった。

1.2 男性の育休取得に関して

ひと通り自己紹介を終えた後は、育休取得に関する話題となった。育休取得者の代替要員が入る場合とそうでない場合があり、代替要員が入らない場合はチーム内でフォローをし



参加者の写真撮影 (2025.5.17)

ていかないといけないが、組織(特に企業)はフォローをするメンバーへの配慮が不足しており、フォロー手当を充実するなどの職場環境の改善が必要、との意見が育休取得者(女性)から挙がった。また、急な病気や怪我で業務メンバーから外れる人が出て対応するよりも、予定がわかっている育休者への対応は事前に準備できるのになぜ組織は対応を考えないのか?といった意見があった。

参加者の親族で妻の出産にあわせて育休を取得する2人の男性の話が紹介され、育休中に何をすべきなのか理解している人とそうでない人がいることが判明し、周囲からの教育が必要なのでは、という結論に至った。

2. 学会託児室

2011年に名古屋大学で開催した第120回春期大会で初めて託児室を開設し、ここ数年は複数名の利用が続いている。託児室の常設を継続し、子育て中の研究者(男性、女性問わず)が大会に参加できる環境を維持していきたいと考えている。

3. おわりに

次の第149回秋期大会でも女性会員の会の開催を予定している。女性会員の会は女子学生、女性会員だけでなく、女性を応援する男性方も歓迎している。飛び入り参加大歓迎、多くの方の参加をお待ちしている。

軽金属学会「女性会員の会」

<https://www.jilm.or.jp/page-resource04>